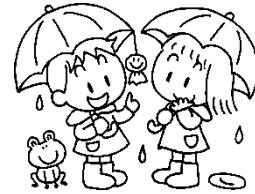




# えんだより



2021年6月  
吉野幼稚園

主 題：「育つ」

聖書のことば：「初めに神が天と地を創造した。」（創世記1：1）

コロナ禍の中での大型連休も終わり、幼稚園の保育活動は5月から給食やお弁当が始まり、通常通りとなりました。咲く花の種類も移りゆき、園庭のアジサイもつぼみが膨らんできました。いよいよ6月です。

登園した子どもたちは、体力づくりのため、まず園庭をランニングします。各自目標を決めて、頑張っています。そのあと、マリア様のご像の前でお祈りをして、各保育室に入ります。そして、各自「おしごと」に取り組みます。ひとりひとりの子どもの発達段階や興味関心に従って、いろいろな「おしごと」があり、子どもたちは大変熱心に取り組んでいます。なかには、同じ「おしごと」を5回も10回も繰り返している子どももいます。それはそれでよいのです。繰り返すことにより、少しずつ見栄えが良くなったり、速くなったり、手際よくなったりします。いわゆる習熟です。幼いころからその感覚を身につけることも大切です。

新学期は、子どもたちの人間性の基礎作りをする大事な時期です。モンテッソーリ教育は「日常生活」の「おしごと」を通して、自分のことは自分でする習慣を身につけさせることに取り組みます。「三つ子の魂百まで」ということわざもあります。この時期に身につけた日常生活の習慣は、子どものこれからの人格形成の大きな要素となるといっても過言ではありません。あせらず、あわてず、その子なりの成長を見届けたいと思います。

これからも一人ひとりの子どもと接していく中で、子どもたちが潜在的に持っている「成長する力」を育てていきたいものです。

園の教育と、家庭での教育が一体となって、すばらしい御子を育ててまいりましょう。

【園長 野田弘之】

6月のねらい

- A グループ・時間に興味を持ち、時間の大切さに気付く。父の日の意味を知り、感謝の気持ちを持つ。
- B グループ・梅雨の自然に触れ、環境の変化に気付き、興味を持つ。
- C グループ・友だちに興味を持ち、名前を覚えて、さまざまな活動にいっしょに参加する。